

科目名		担当者氏名	授業形式	単位	開講時期
アイスアート		宮崎 達也	実習	1	後期
必修・選択	卒業要件	選択			
	資格要件				
学習目標	氷の特性及びノミの扱い方の知識と技術を学び理解する。また、実技を行い理解した知識や技術を活用し、さまざまな基礎・基本の題材を製作し体得することで、料理の演出にアイスアートを役立てることができる。				
授 業 計 画					
回	項 目	授 業 内 容			
1	歴史と道具	氷彫刻の起源と活用法、道具の種類と手入れ及び扱い方			
2	氷彫刻とデッサンの書き方	氷彫刻の制作方法と器類、魚類、鳥類、動物などの描き方			
3	道具の扱い方と氷彫刻実演	氷の特性説明と道具の扱い方のデモンストレーション			
4	角皿のデッサンと実演	デッサンの書き方とデモンストレーション（直線の入れ方）			
5	角皿の実技	角皿の製作			
6	丸い器のデッサンと実演	デッサンの書き方とデモンストレーション（曲線の入れ方）			
7	丸い器の実技	サラダボール制作			
8	ワインバスケットのデッサンと実演	デッサンの書き方とデモンストレーション			
9	ワインバスケットの実技	木の葉型皿の製作			
10	木の葉型皿のデッサンと実演	デッサンの書き方とデモンストレーション			
11	木の葉型皿の実技	木の葉型皿の製作			
12	魚類のデッサンと実演	ハマトビウオの書き方とデモンストレーション			
13	魚類の実技	ハマトビウオの制作			
14	鳥類のデッサンと実演	オカメインコの書き方とデモンストレーション			
15	鳥類の実技	オカメインコの制作			
参 考 書	鶴見義雄著「氷彫刻構図全集（基礎～応用）」、「アイスアート プロフェッショナル」 ※彫刻用道具及び氷代が必要				
学習上の注意（自己学習、学外学習など）	デッサンを書き（予習・復習）、物の形を把握する。また、発泡スチロールなどを活用し、立体的な作品を制作する。				
評価の方法と時期	出席状況 20%、授業態度 20%、道具の扱い方と実技の完成度 60%を総合的に判断する。《形成的評価》				